

令和 6 年度 地域公共交通対策事業の概要

【市民バス】

①市民バス「肥田線」新設（R6.10～）

R6.9 末の東鉄バス「肥田線」廃止に伴い、現在の運行体制※を継承し市民バスとして運行するもの。運賃は 200 円とする。

※ 経路、バス停、車両、乗務員、ダイヤ（平日 3 往復、土休日 1 往復）

②小型車両導入

利用実績の少ない路線(市民バス「曾木＝妻木線」を想定)の輸送効率の向上を図るもの。導入車両は、日産・キャラバン（14 人乗り）を予定している。

③運賃見直し（R6.10～）

料金設定※から相当期間が経過しており、物価上昇への対応はじめ収益改善のために市民バス運賃を現行の 100 円（一部区間 200 円）からの増額を検討するもの。

※ H12.10～ 200 円、H14.10～ 100 円 ※ 福祉バス（無料）との統合による

【AI デマンド実証実験業務委託】（R7.1～）

民間路線バス事業者の運転手不足や経営悪化に伴う減便・廃止に対し、持続可能な公共交通の在り方を検討するため、DX を活用した新たな公共交通システムである AI デマンド交通の実証運行の実施により市民の受容性、利便性や満足度について調査し、今後の本格運行に向けた導入可能性を検証するもの。

【自動運転】

乗務員不足対策やリニア開通を見据え、東濃 5 市+下呂市において広域連携によりレベル 4 の自動運転の実現に向け調査業務を実施するもの。令和 6 年度は、岐阜県が地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）を共同申請し、調査業務を実施する。